

中心静脈カテーテル関連血流感染症撲滅のためのケアバンドル予防策徹底とその教育—大学病院集中治療室における中心静脈カテーテル関連血流感染症の関連因子と予防策の有効性の検討— ー後方視的観察研究ー

1. 研究の対象

- 杏林大学医学部附属病院中央集中治療室において、2013 年 7 月 1 日から 2023 年 11 月 30 日までに中心静脈カテーテルを挿入された患者様を対象とします。

3. 研究の目的および方法

目的：当院の中央集中治療室(CICU)では、2013 年 7 月から日本環境感染学会 JHAIS の中心静脈カテーテル関連血流感染(CRBSI)のサーベイランスに登録を開始しました。本研究では、CICU での CRBSI サーベイランスの結果と関連因子を後方視的に検討することと、この期間に行われた感染防御策と感染率の推移について検討することが目的です。

方法：カテーテル感染の診断はサーベイランスで決められた診断基準により、当院の感染制御チームが診断しています。カテーテル挿入に関係する可能性のあるデータは電子カルテから抽出します。抽出した因子とカテーテル感染との関係を統計学的に検討します。解析はコンピュータソフトウェアによる統計学的手法を用います。病院の感染対策室で推奨され実行した感染防御策と開始時期を聴取し、感染率の推移に照らし合わせ、感染対策の有用性について検討します。

研究期間：倫理委員会承認後～2024 年 11 月 30 日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：用いません。

情報：電子カルテ記録から抽出します。(年齢、性別、病名、挿入目的、挿入部位、挿入期間、感染危険因子、バイタルサインなど)

5. 試料・情報の公表

本研究で得られた成果は学術集会における講演、学術雑誌への掲載により公開いたしますが、個人が特定できるような情報はすべて排除いたします。プライバシーを侵害する恐れはまったくありません。

6. お問い合わせ

情報が当該研究に用いられることについて患者さんやご家族の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究代表者 : 杏林大学医学部麻酔科学 萬 知子

連絡先 : 杏林大学医学部麻酔科学

萬 知子

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

Tel: 0422-47-5511 (内線 2410)

Fax:0422-43-1504 e mail: tyorozu@ks.kyorin-u.ac.jp